



# 中国の高等教育における 学歴と学位

—多様な学士・修士・博士への途

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構  
李 敏

# 発表の目的

- 昨年のセミナー（2022年12月19日）の質疑に対する回答と補足
- 事前アンケートに対する回答
- 李がどうしても話したいこと

李の思入れ満載の発表となることをご了承ください！

# 昨年度のセミナーの振り返り

- 申請者は大学進学資格を持っているのか？
- 申請者が提示した材料の真正性は保証されているのか？
- 優秀な学生がわれわれの大学に来ているのか？



- ① 中国の高等教育の制度
- ② 高等教育資格（学歴・学位）

セミナー資料（中国第1弾、2022年12月19日）

# 中国の高等教育の制度

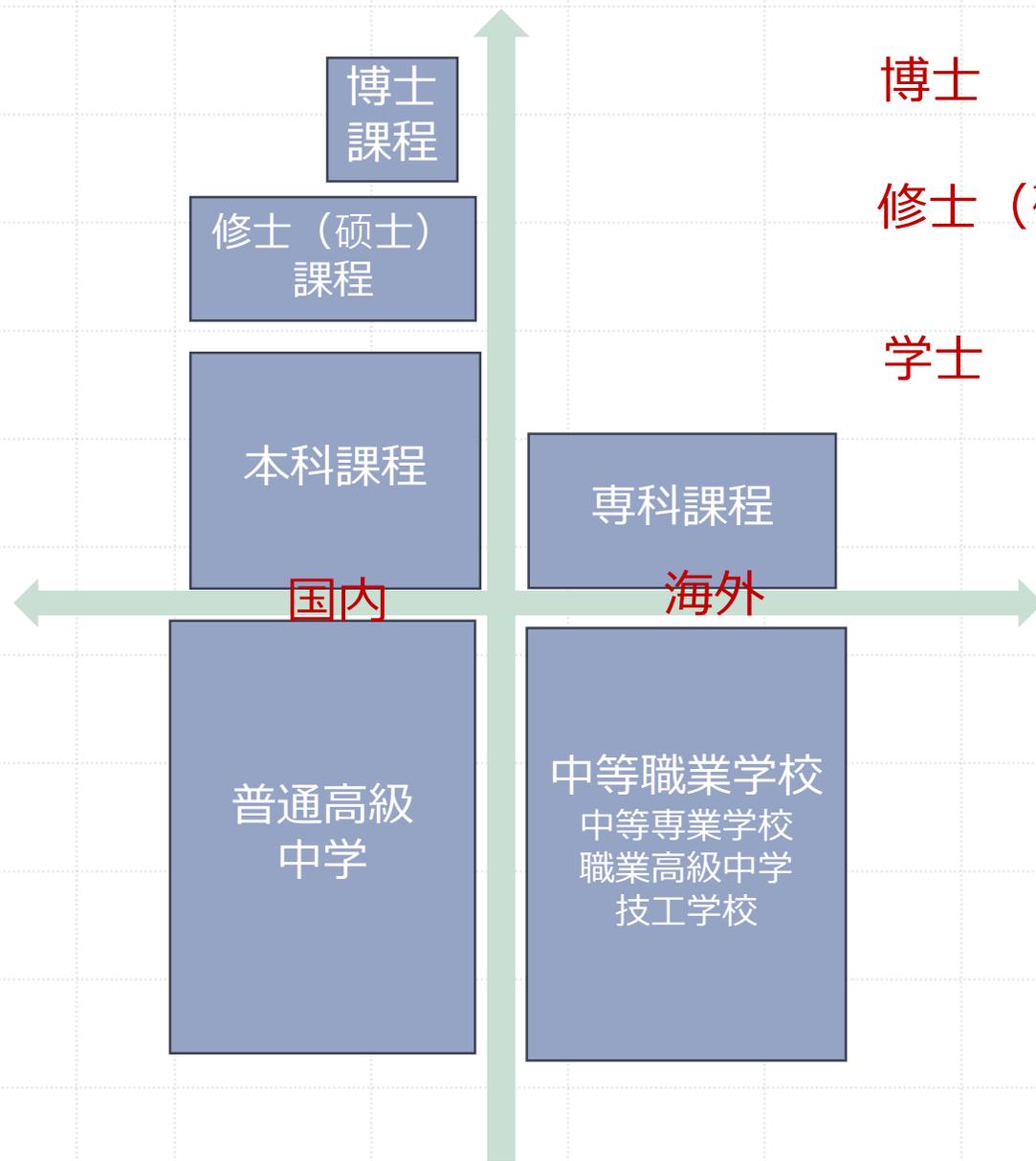
- 普通教育と成人教育（現在：継続教育）という2つの系統の存在
- 成人教育を通して、学士・修士・博士の学位の取得
  - ⇒多様な学士・修士・博士への途
- 成人教育の発達によって、中国の学校教育は労働市場と高度な親和性
  - ⇒社会人教育の発展（教育機関を通してリスキリングを行う伝統）
- 後期中等教育における普通教育と職業教育の分岐、職業教育軽視と過小評価の問題
  - ⇒科学試験の伝統、制度的要因、職業教育忌避の心理
  - トップダウンでの職業教育の強化、労働市場における職業教育、専門教育へのニーズの拡大
- 中国の高等教育機関の類型

# 中国の高等教育資格—学歴と学位

- **学歴≠学位**                      学歴 < 学位？
- **学位授与権**
- **学位取得の多様な途**
  - 普通教育と成人教育
  - 全国統一試験による選抜 > 地域・高等教育機関の試験による選抜

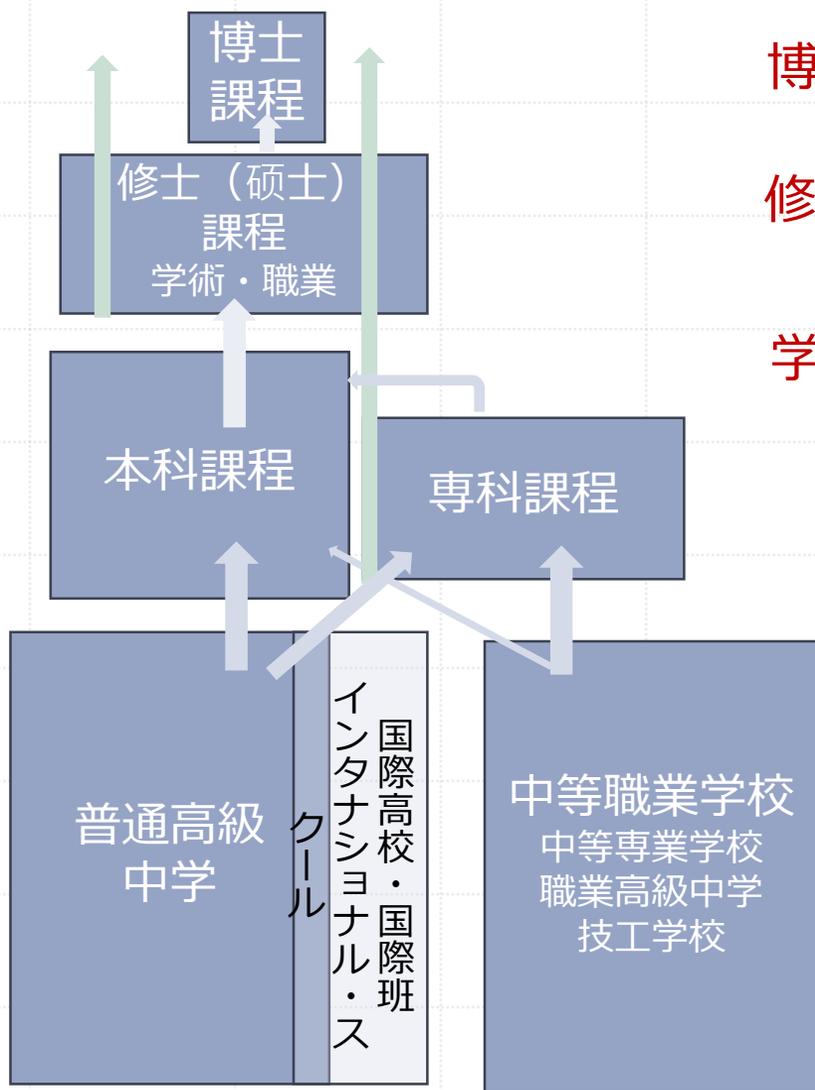
# 皆様からのご質問とご要望

- **【関心事項】**
  - 学位・資格制度
  - 国際部、インターナショナルスクール等の「教育の国際化」
  - 職業教育、中等教育と高等教育との接続、大学院の進学
  - 高等教育政策
  - 証明書の電子化
- **【日々の業務で不足している情報】**
  - 高校の認可状況・資格の真贋判断など「資格審査」に関わる事項
  - 「国際化」や「留学関連」の情報



# 本日の発表内容（1）

- 大学出・大学院出の価値**  
 大学・大学院進学をめぐる熾烈な競争の背景
- 海外留学がもたらしたものの**  
 「海亀」（海帰）から「海带」（海待）へ



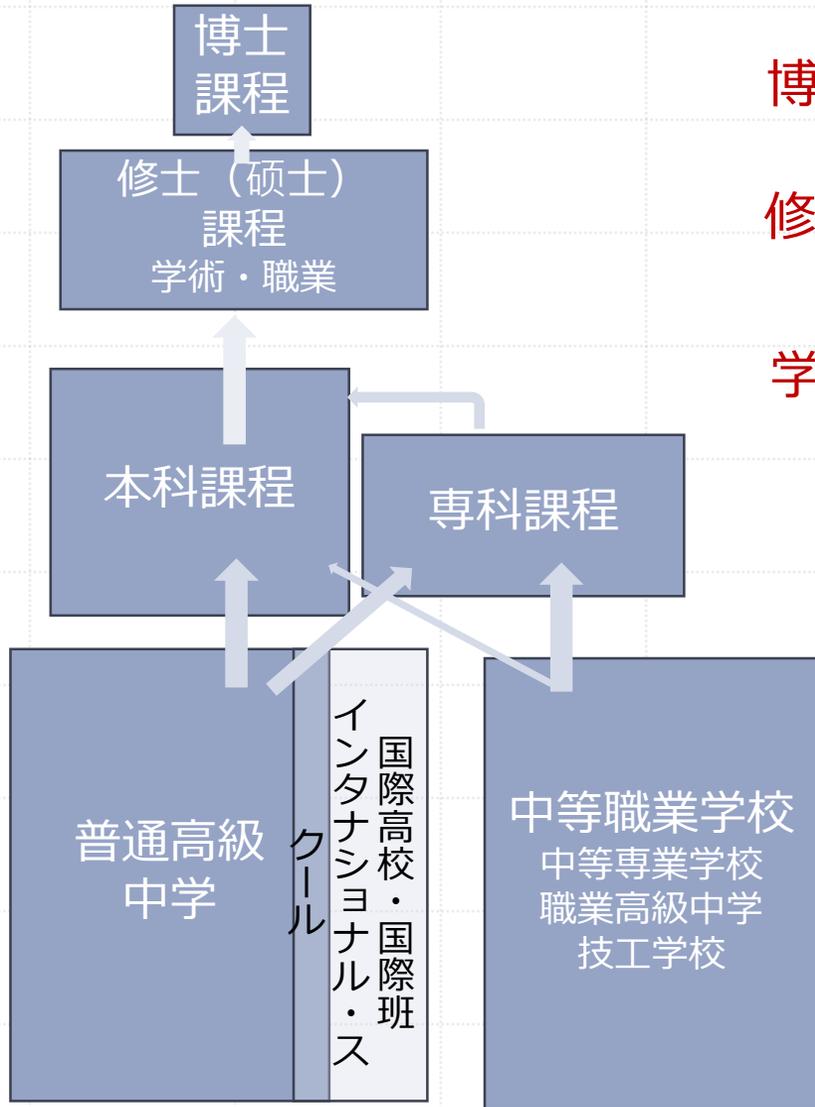
博士

修士(硕士)

学士

## 本日の発表内容 (2)

- 学歴と学位
- 卒業証書と学位証書
- 学位取得の多様な途
  - 学士
  - 修士(硕士)
  - 博士
- 国際高校



博士

修士(硕士)

学士

# 本日の発表内容 (3)

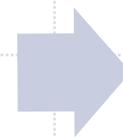
- 学歴・学位証書、成績証書等々の種類
- 証書の認証と承認



Section I  
背景



Section II  
制度



Section III  
実務

# Section I : 背景

人々はなぜ大学・大学院進学、海外留学を  
目指すのか？ — 中国式努力の構造

# そもそも「大学出」「大学院出」「留学」の価値とは？

- 「**人的資本論**」 (Schultz 1961, Becker 1964)
    - 学校教育⇨生産能力の増大⇨個人の生涯所得の上昇
    - 大学、大学院へ行こう！
  - 「**シグナリング理論**」 (Spence, 1973)
    - 学校教育 = 自分の能力を他人に知らせるための「シグナル」
    - 高い学歴・学校歴 = 高い能力の持ち主
  - 「**仕事競争モデル**」 (Thurow, 1976)
    - 学歴 = 訓練可能性(trainability)に対するシグナル
    - 高い学歴・学校歴 = 地頭が良い = より充実した職場訓練の多い仕事を入手 = より多くの収入を得る。
- 
- 高等教育エリート段階の論理
  - 計画経済時代の論理
- 
- 高等教育マス段階・ユニバーサル段階の論理
  - 市場経済時代？の論理

# しかし、 大学・大学院を出たものの、**若者の失業率 25%以上 大卒者の就職率 悲惨そのもの？**

- 「高学歴者の非特権化」

高学歴社会への移行に伴い、大卒者の就職はテクノクラート（専門的・技術的職業）や、ビュロクラート（行政的・経営的・管理的職業）からはみ出し、就職機会において大卒者の「非特権化」が進行する。

⇒大卒者などの高学歴者に必ずしも高い社会地位の職業（管理・専門・技術職）が約束されるとは限らない。

- 「学歴の閉鎖性」

テクノクラートの地位、ビュロクラートの地位につくためには、大卒の学歴が必須となるという「学歴の閉鎖性」が同時に起きたと指摘した。

⇒管理・専門・技術職に就くためには高学歴が必須となる。

- 潮木守一（1971）「高等教育の国際比較－高等教育卒業者の就業構造の比較研究」『教育社会学研究』第26集，pp.2-16。

# 「大学出」、「大学院出」の価値

- 過去と比べると、大卒の収益率が低下したかもしれないが、同時代の中卒、高卒の学歴と比べると、大卒の収益率がまだ高い。（しかし、最近は崩れ始める神話……）
- 高学歴はもはや高い社会的・経済的地位の就職を保証できなくなったものの、**特定の職業的地位**につくためには、大卒（or それ以上）という学歴が必須条件となっている。
- 大卒と院卒、およびその学位は人材を**選抜**するための重要な**基準**とされている。
- **厳格な全国統一入学試験** — 基礎学力を測る**客観的な尺度**の存在 — **強いシグナル！！**
  - 普通高等教育機関全国統一入学試験（National College Entrance Examination, Gaokao）
  - 全国修士課程統一入学試験（Nationwide Master's Program Unified Admissions Examination）  
⇒大学院教育、修士・博士の学位が社会、特に労働市場に高く評価される大きな要因  
留学も個人の学力・能力を表す強力なシグナルの一つ（だった）

# シグナル機能を強化する 中国式努力の構造



## ■ 努力の伝統—科学試験

- 教育を通して「立身出世」の「教育神話」
- 博士後（ポスドク）＞博士＞修士＞学士

## ■ (学歴重視の) 職業構造

- 計画経済時代の内部労働市場（≡メンバーシップ雇用）から市場経済の外部労働市場（≡ジョブ型雇用）への転換

## ■ 社会構造（階層移動）

- 「戸籍制度」の障壁を超えるためには大都市の大学・大学院に進学してから就職することが最も確実な手段。海外留学も類似した効果がある。
- 上海人才引进放大招！世界排名前50院校毕业生来沪工作可直接落户
- 苏州工业园区人才补贴标准

# 大学院進学、海外留学の意義

- **いうまでもなく学問への追求**
- **就職と昇進のため**
  - 入職時の募集要件
  - 幹部の若年化・高学歴化
- **敗者復活戦**
- **学歴のロンダリング・戸籍のロンダリング**

# シグナル機能の退化

## ■ 大学・大学院の大衆化

- 修士課程修了者数 > 学部卒業者数（2022年北京）
- 就職難を解決する手段の一つとしての修士課程進学者枠の更なる拡大

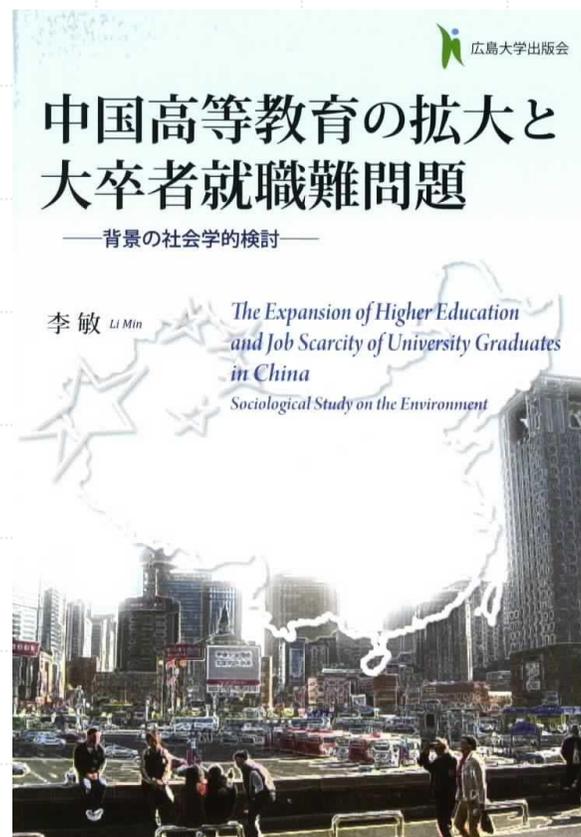
## ■ Degree millの氾濫

- 「水碩」（質の低い修士課程、1年制修士が多い）への取り締まりの強化
- 大学ランキングを中心とする評価

### 【質問】

シグナル機能を維持もしくは強化するためには、日本の大学はどのように対応すればよいのか？

# より詳細な 情報は ⇒



The Trilemma over Graduate Schools  
in Humanities and Social Sciences:  
An International Study on the Relationships between Graduate Schools,  
Graduates, and the Labor Market

高等学  
院  
177

Yoshida, Aya  
Murasawa, Masataka  
Murayama, Shiho  
Ninomiya, Yu  
Tanaka, Masahiro  
Hamanaka, Junko  
Fukudome, Hideto  
Li, Min  
Huang, Meiyang

### 文系大学院をめぐるトリレンマ

大学院・修了者・労働市場をめぐる国際比較

吉田文 編著

村澤昌崇  
村山詩帆  
二宮祐  
田中正弘  
濱中淳子  
福留東土  
李敏  
黄梅英

玉川大学出版部



# Section II : 制度

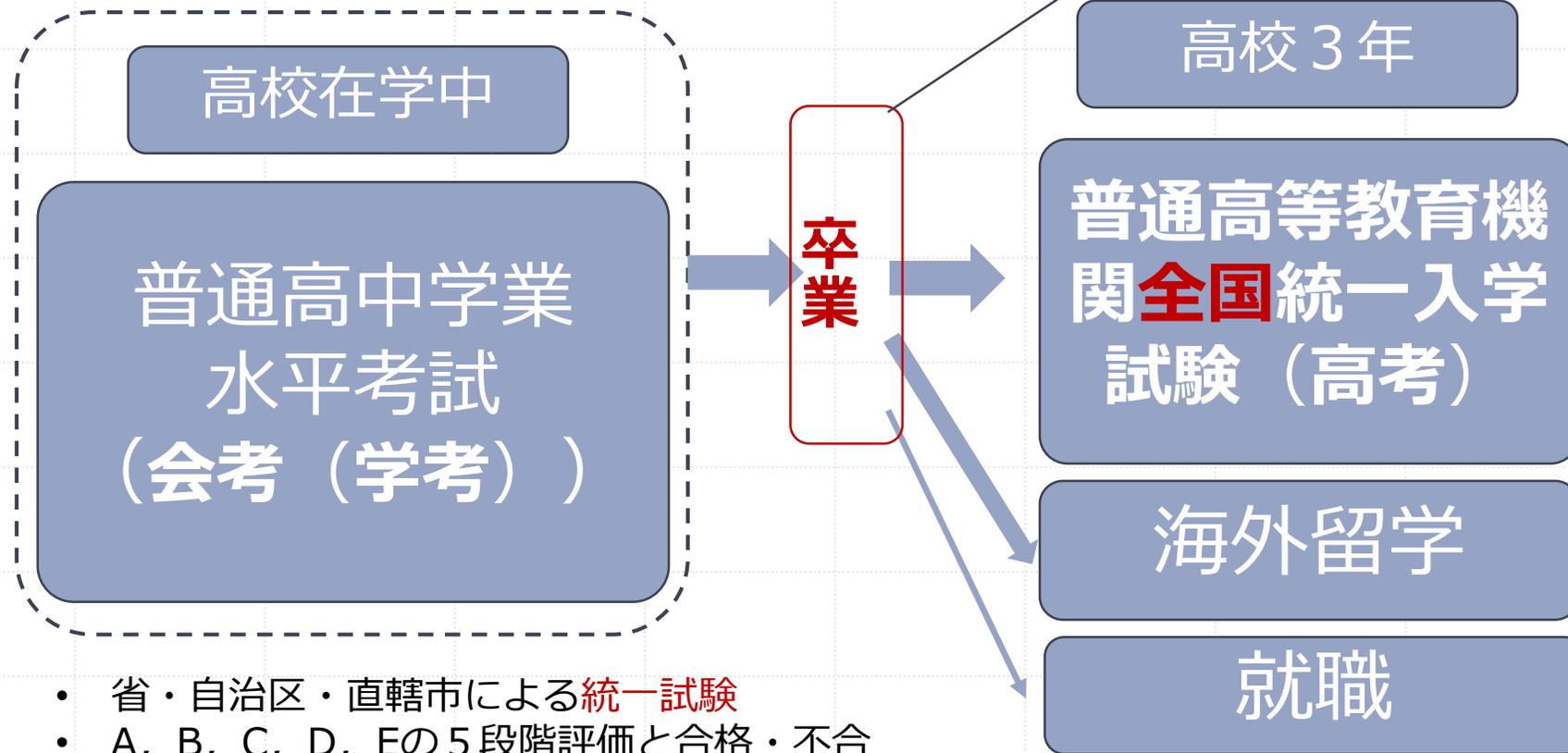
—多様な学位を取得する途



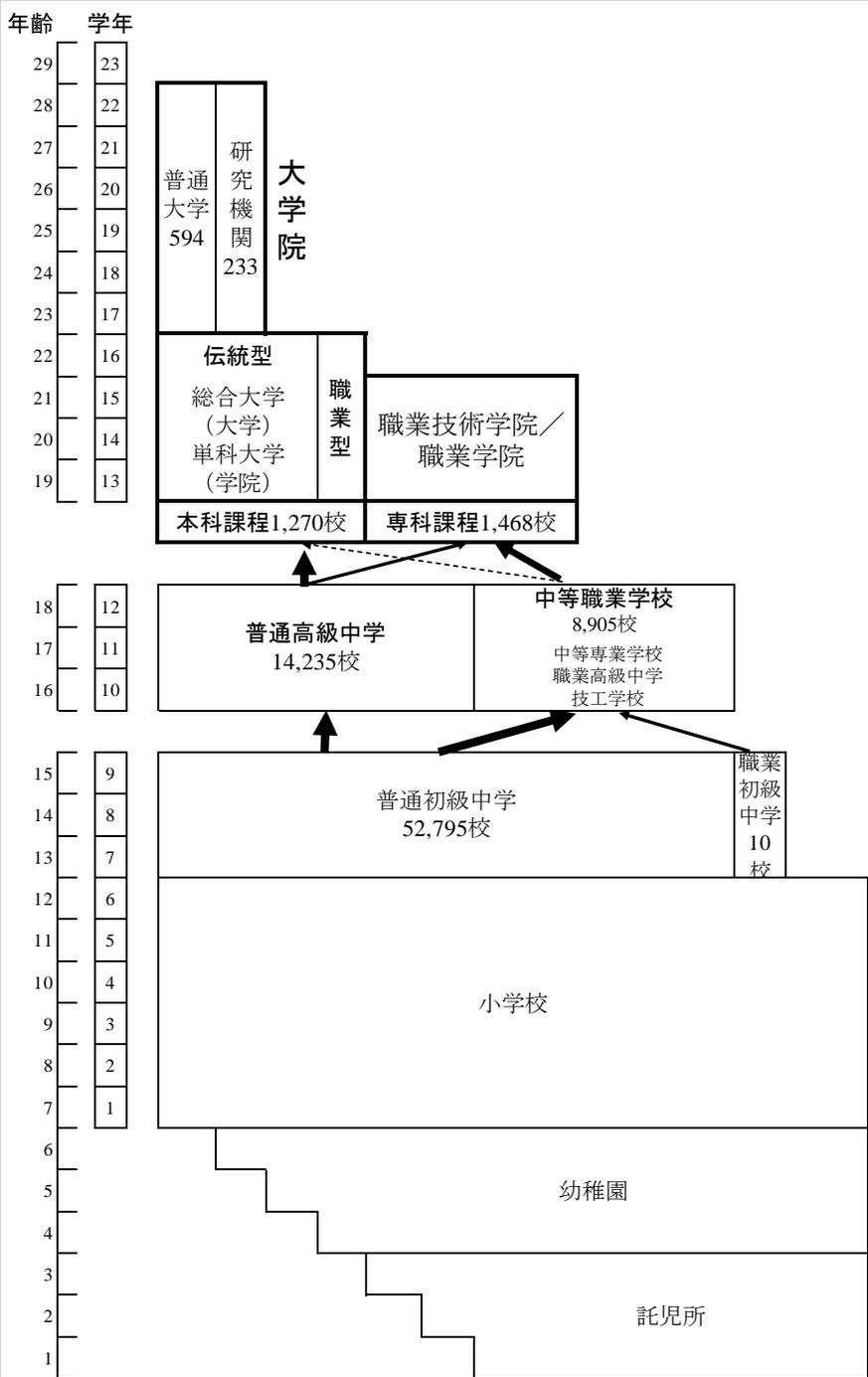
まずは、間違いやすい概念から

# 学歴と学位

# 森センター長の疑問



- 省・自治区・直轄市による**統一試験**
- A, B, C, D, Eの5段階評価と合格・不合格の判断
- 大学入学選抜試験の一部



成人高等教育機関  
高等教育

成人中等教育機関  
中等教育

成人初等教育機関  
初等教育

# 普通教育Vs.成人教育

## ■ 普通教育システム

- 全日制・対面方式中心
- 初等教育・中等教育・高等教育
- 6-3-3制
  - 上海、山東省等の一部：5-4-3制
  - 飛び級制度：大学進学まで<12年間
  - 留年制度：大学進学まで>12年間

補足：課程主義（修得主義）の中国、年齢主義（履修主義、年数主義）の日本

## ■ 成人教育システム ⇒ 継続教育システム

- 在職者を対象、非全日制教育（夜間・休日）・遠隔教育中心
- 初等教育 1949年後 非識字者一掃
- 中等教育 1980年代
  - 知識青年の継続教育
  - 在職者の職業訓練
- 高等教育 1990年代～現在
  - 管理者・技術者の養成と研修
  - 形式：開放大学、成人教育、インターネット遠隔教育※（ネットワーク教育）、自学考试、同等学力申請碩士・博士



継続教育・生涯教育への脱皮

# 「課程主義」・「修得主義」の中国 「年齢主義」・「履修主義」の日本



## 「課程主義」・「修得主義」

- 「課程主義」とは、義務教育制度における「義務」の完了を認定するに当たり、**一定の教育課程の習得をもって義務教育は終了した**とみなすものである。我が国の明治期から戦前にかけての義務教育はこの課程主義に属しており、例えば、「小学校令」（明治33年）においては、「尋常小学校ノ教科ヲ修了シタルトキヲ以テ就学ノ終期トス。」と定められていた。
- 「修得主義」とは、当初は**成績の評価・評定と深く関係付けられていた**用語で、児童生徒は、所定の教育課程を履修して、**目標に関し、一定の成果を上げて単位を修得すること**が必要とする考え方を指すものである。我が国の初等中等教育においても、高等学校については、単位制が採用されており、「修得主義」の原理に立つものとされている。



## 「年齢主義」・「履修主義」

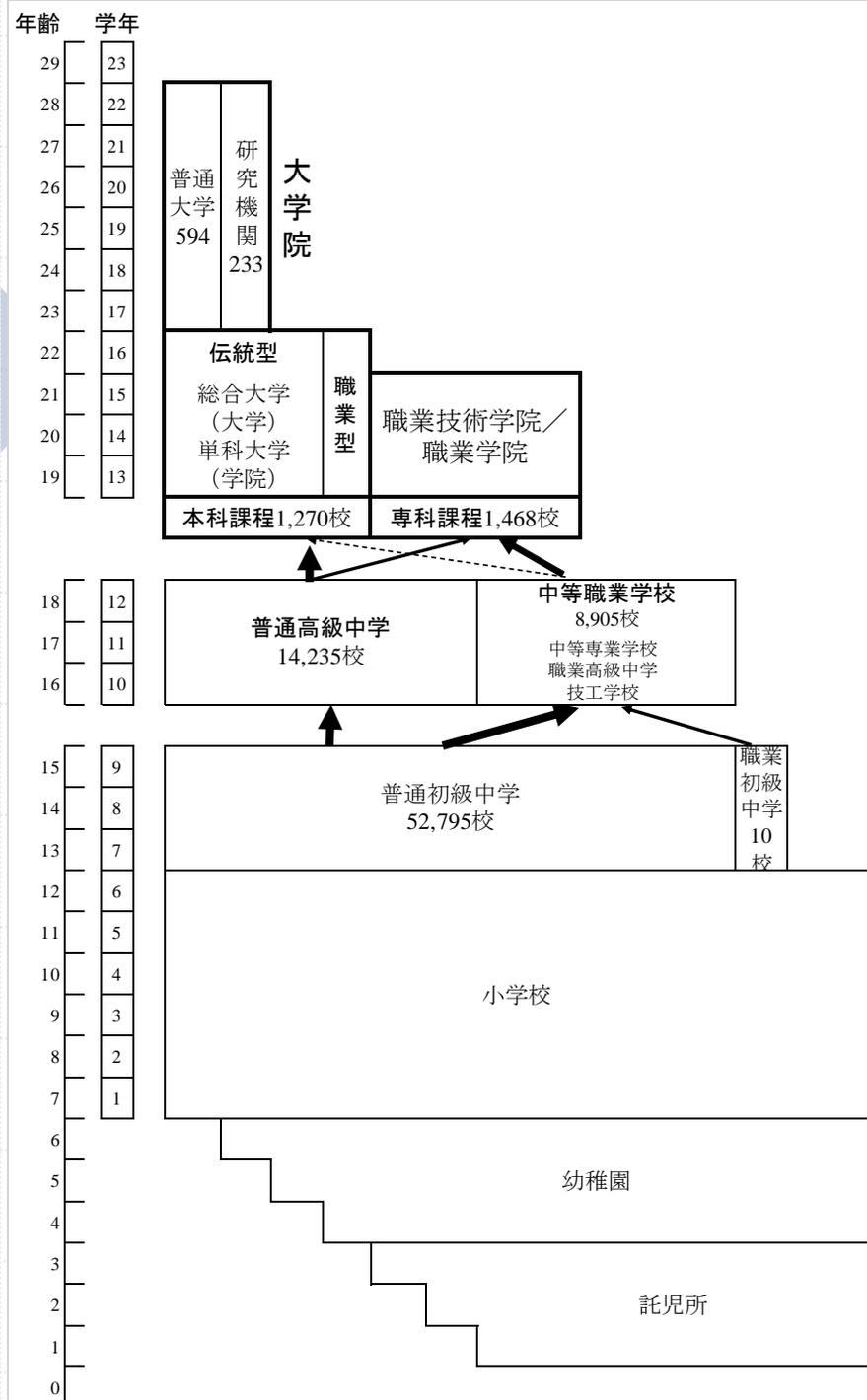
- 「年齢主義」とは、義務教育制度における「義務」の完了を認定するに当たり、**年齢に達したならば自動的に義務教育は終了したと認める**ものである。我が国では、「国民学校令」（昭和16年）において、「満14歳ニ達シタル日ノ属スル学年ノ終迄」として年齢主義の規定に転換し、現在の学校教育法においても引き続き年齢主義が継承されている。
- 「履修主義」とは、当初は成績の評価・評定と深く関係付けられていた用語で、児童生徒は、所定の教育課程をその能力に応じて、**一定年限の間、履修すればよいのであって、特に最終の合格を決める試験もなく、所定の目標を満足させるだけの履修の成果を上げることは求められていないとする**考え方を指すものである。我が国の小・中学校においては「履修主義」が採られている。



- 進級および次の教育段階への移行の可否に関する判断は、学生が身につけている学力水準を基準とされている。したがって、学年末のテスト、中学校進学、高校進学、大学進学する前に、前段階の教育の修得状況を確認するために、必ず**統一試験**（小学・中学・普通高校統一考試）が課される。
- 学力に応じて、**留年**と**飛び級**の両方の措置がある。
- 大学に関しても、4年間の教育課程の全ての科目に合格し、課程が定められた知識と能力を身につけていることが確認されてから、卒業できる⇒ **卒業証書**
- その上で、**学士学位授与の要件を満たす**場合は、学位が授与される。⇒ **学位証書**
  - ⇒ **学力、コンピテンシーを基準にしているため、正規課程以外のルートであっても、学位取得の途が開かれている。**



- 義務教育段階における進級および次の教育段階への移行の可否に関する判断は、学生の学力と関係せず、**年齢を基準**とされている。
- 年齢（履修年数）が不足している場合は、次の教育段階への進学が困難である。（飛び級等の一部例外あり）
- 高校と大学に関しては、教育課程の科目を履修し、かつ要求を満たす場合は卒業とされ、大学の場合は（ほぼ自動的に）学位が授与される。
  - ⇒ 高等教育に関しては「**学位記**」等に卒業と学位取得の両方の意味が含まれている。
  - ⇒ **年数への拘りが強い**
    - Competency-Based Educationの展開に不利（高等教育における社会人の受入れ、micro credentials……）**



成人高等教育機関

高等教育

成人中等教育機関

中等教育

成人初等教育機関

初等教育

# 学歴

- 教育法で定められた教育機関における学業上の**経歴**。≡教育の段階
- 小学・初級中学・高級中学（普通高級中学、中等専門学校、職業高級中学、技工学校）、専科（職業技術学院、職業学院）、本科、碩士研究生、博士研究生

【補足】学力水平テストの結果に応じて、履修完了の有無による学歴の呼び方

- ① 卒業（卒業）
- ② 结业 規定された科目をすべて履修したものの、不合格の科目がある。

学歴（学業に関する経歴）：卒業 = 结业  
大学院の出願資格あり。

- ③ 肄業 中退 大学在学1年以上  
大学院の出願資格なし。

Level	Qualifications
8	● Doctoral degree/ 博士
7	● Master's degree/ 修士 ● Master of XXX (Professional)/ 修士 (専門職) ● Master of Education (Professional)/ 教職修士 (専門職) ● Juris Doctor/ 法務博士 (専門職) ● Bachelor's degree (Medical, Dentistry, Pharmaceutical Sciences (Clinical), and Veterinary Medical Science) / 学士 (医学、歯学、薬学 (臨床目的)、獣医学)
6	● Bachelor's degree/ 学士 (医学、歯学、薬学 (臨床目的)、獣医学) は除く ● Bachelor's degree (Professional)/ 学士 (専門職) ● Advanced diploma/ 高度専門士
5	● Associate degree/ 短期大学士 ● Associate degree (Professional)/ 短期大学士 (専門職) ● Associate/ 準学士 ● Diploma/ 専門士 ● Certificate of Completion (two or more year advanced course)/ 修了証書 (専攻科 2 年以上) ・ Upper secondary school/ 高等学校 ・ Upper division, secondary education school/ 中等教育学校後期課程 ・ Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部
4	● Certificate of Graduation (one year course in professional training college)/ 卒業証書 (専修学校専門課程 1 年制) ● Certificate of Completion (one year advanced course)/ 修了証書 (専攻科 1 年制) ・ Upper secondary school/ 高等学校 ・ Upper division, secondary education school/ 中等教育学校後期課程 ・ Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部
3	● Certificate of Graduation/ 卒業証書 ・ Upper secondary school/ 高等学校 ・ Secondary education school/ 中等教育学校 ・ Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部 ・ Upper secondary course, specialized training college/ 専修学校高等課程 ● Certificate of Completion (3rd grade of regular course, college of technology)/ 修了証書 (高等専門学校 3 年次修了) ● Certificate (Upper secondary school equivalency examination)/ 高等学校卒業程度認定試験合格証書
2	● Certificate of Graduation/ 卒業証書 ・ Lower secondary school/ 中学校 ・ Compulsory education school/ 義務教育学校 ・ Lower secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校中学部 ● Certificate (Lower secondary school equivalency examination)/ 中学校卒業程度認定試験合格証書
1	● Certificate of Graduation/ 卒業証書 ・ Elementary school/ 小学校 ・ Elementary department, school for special needs education/ 特別支援学校小学部

# 学位

## ■ 教育資格の一種

■ 【日本】一定以上の**学術能力**があると認定された者に授与される**資格**。 『広辞苑』第七版

## ■ 【中国】

『中華人民共和国学位条例』第 5 条：

「……**所定の学術水準**または**専門水準**を達成し、本条例に従って該当学位を申請できる。」

種類：学士・碩士（修士）・博士      学術学位・専門職学位

専科の卒業生には学位の授与はない。

それでは、**学術能力**とは？

【日本】 不明

卒業時に学位が授与される。

# 中国における学位の授与要件

	学 士	修 士	博 士
申請資格	高等教育機関の <b>卒業生</b> 成績優秀 	高等教育機関又は研究機関の修士課程の学生、あるいは同等の学力を持つ者。試験、論文ならびに口頭試問に合格している。	高等教育機関又は科学研究機関の博士課程の学生、あるいは同等の学力のある者。試験、論文ならびに口頭試問に合格している。
授与要件	専攻する専門分野の <b>基礎</b> 理論、専門知識と <b>基本</b> 技能を身につけている。	専攻する専門分野において適切な基礎理論と <b>体系的な専門知識</b> を身につけている。	専攻する専門分野において <b>幅広い</b> 基礎理論と <b>体系的な深い</b> 専門知識を身につけている。
	科学研究に従事又は専門技術の業務を遂行するための <b>初歩的な能力</b> を持つ。	科学研究に従事又は専門技術に関する業務を <b>単独で遂行する</b> ための能力を持つ。	<b>独立</b> して科学研究に従事する能力を持つ。
			科学あるいは専門技術において <b>独創的な成果</b> を上げている。

## 中华人民共和国学位条例

- ⇒ 学士の申請の前提は、卒業（卒業証書の授与）である。  
 卒業はできたものの、学士要件を満たしていない場合は、学位を授与されないことがある。



# 大学卒業、大学院修了時の証書

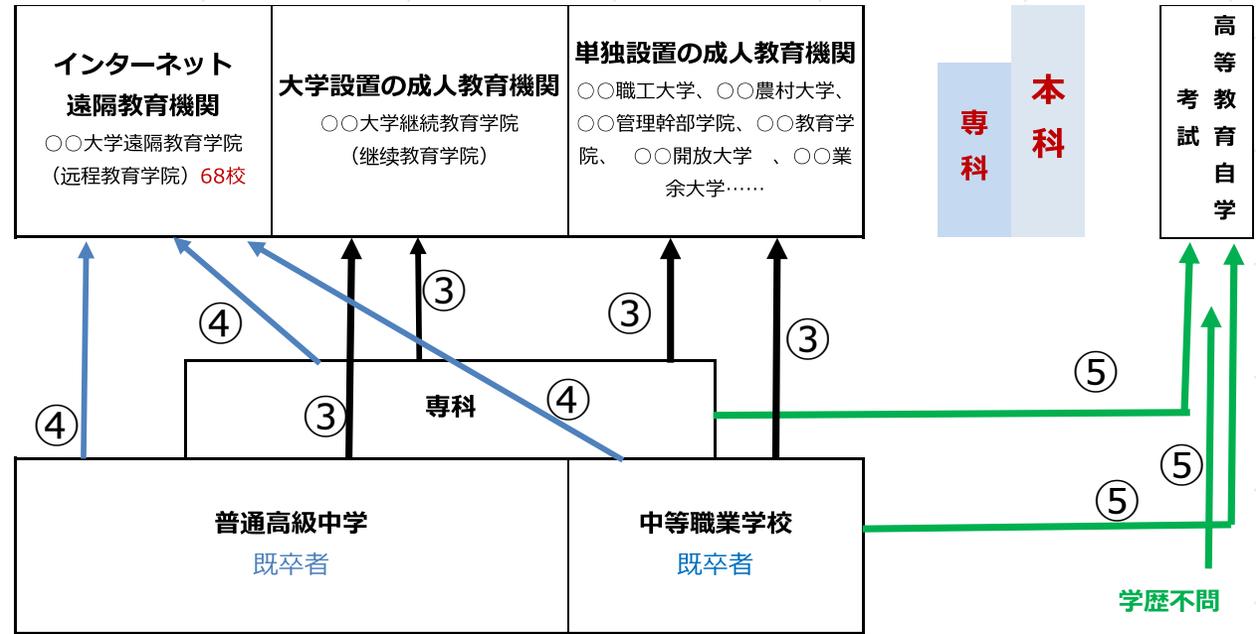
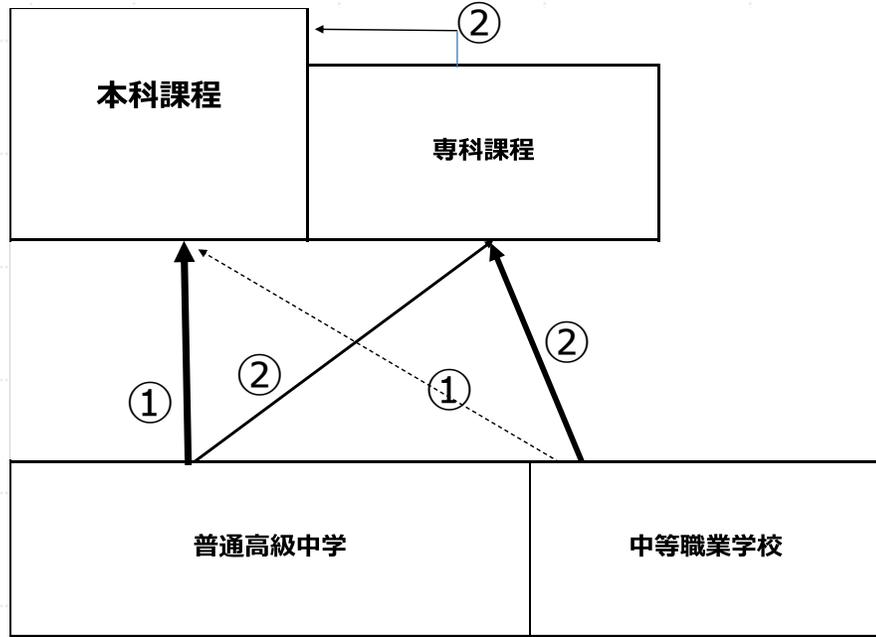
- 双証（ダブル証書）卒業証書、学位証書
- 単証
  - 卒業証書のみ
  - 学位論文を提出できない、もしくは学位相当の水準を満たしていない。
  - 大学院出願の資格あり
- 学位証書のみ
  - 継続教育（成人教育、特に同等学力申請学位）を通して学位を取得した場合。）
  - 例：大学卒業後、就職  
同等学力で博士号取得  
⇒ 学歴：学士  
学位：博士
  - 同等学力申請で学士学位を取得した場合は、大学院出願の資格あり



次は、ようやく本題

**多様な学士・修士・博士への途**

# 多様な学士への途



① 普通高級中学・中等職業学校卒業生	普通高等教育機関全国統一入学試験（高考）	普通高等教育機関の本科課程	専昇本試験	本科編入	卒業（卒業証書）	学位授与要件を満たす場合（学士学位）
② 普通高級中学・中等職業学校卒業生	普通高等教育機関全国統一入学試験（高考） ・ 高等職業教育入学試験（職教高考） ・ 自主招生	普通高等教育機関の専科課程	専昇本試験	本科編入		
③ 普通高級中学・中等職業学校既卒者	成人高等教育全国統一入学試験（成人高考）	大学設置or単独設置の成人教育機関の本科課程 大学設置・単独設置の成人教育機関の専科課程	専昇本試験	本科編入		
④ 普通高級中学・中等職業学校既卒者	（教育機関による）単独試験	インターネット遠隔教育機関本科課程 インターネット遠隔教育機関専科課程	専昇本試験	本科編入		
⑤ 学歴不問	高等教育自学考试	独学or成人教育機関	専昇本試験	本科編入		

# 多様な修士（硕士）への途

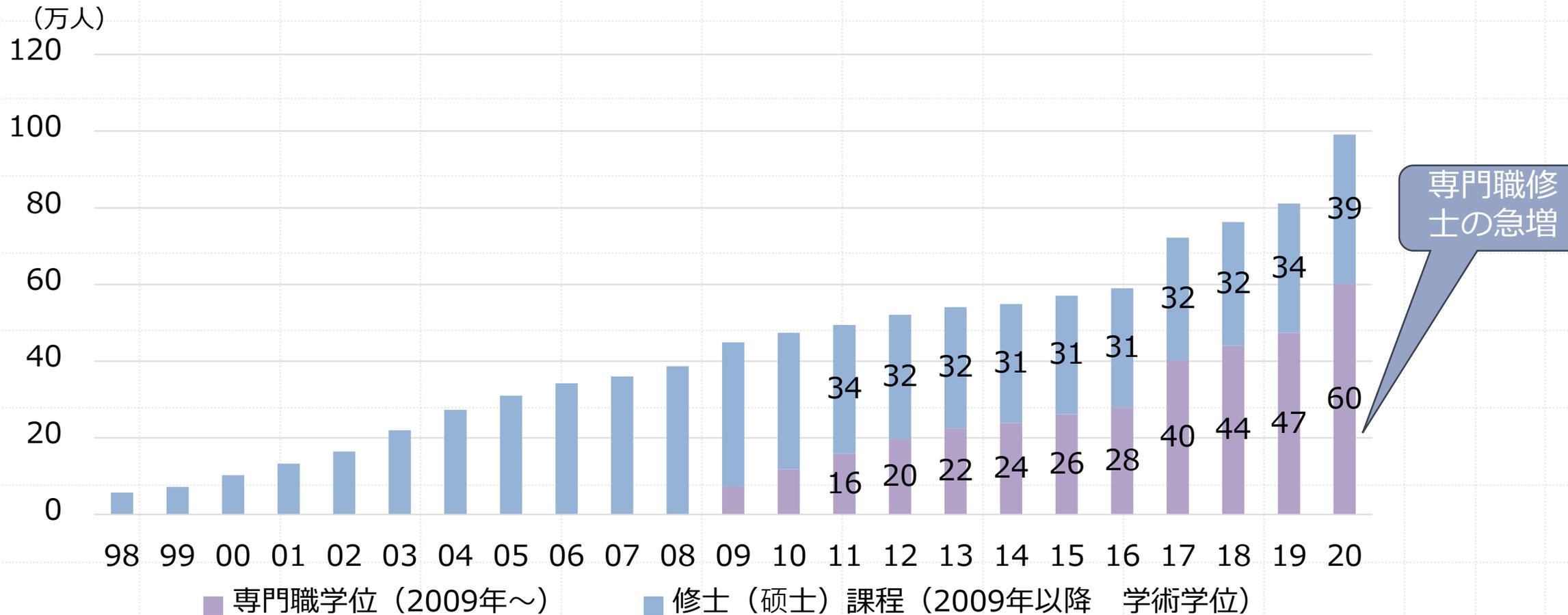
	出願資格を持つ者	李による翻訳	出願時の資格	ルート①	ルート②	在学形態
①	本科卒業生 普通高等教育機関 大学設置or単独設置の成人教育機関の本科課程 自学考試・インターネット遠隔教育の卒業生	普通教育機関・成人教育機関の卒業生（普通教育、成人教育、自学試験の卒業生は同等と認められる。）	卒業證書、学位證書（双証）or卒業證書（単証）	推薦入学（推研）	a. 全国修士課程統一入学試験 b. 各大学・研究機関による選抜	全日制
②	国家に承認された学歴を持つ者	同等学力者	学歴證書（単証）			
③	国家に承認された本科を結業した者	結業證書のみ、学位なし	結業證書（単証）			
④	専科（職業技術学院・職業学院等）を卒業してから入学年度までに2年以上の期間が経過した者	同等学力者	卒業證書（単証）			
⑤	修士（硕士）・博士の学歴もしくはは学位を取得した者	学位を取得せず、学歴のみの者も可 ≡単位取得退学、単位取得満期退学、単位修得退学	卒業證書のみ（単証） or卒業證書と学位證書（双証）			非全日制（土日開講・宿舎・奨学金申請資格なし）

教育部关于印发《2024年全国硕士研究生招生工作管理规定》的通知

**ルート③** 本科卒業かつ学士号を持つ者 ⇒ 卒業證書、学位證書（双証）⇒大学・研究機関による選抜 ⇒ 非全日制  
 ≡ 日本の社会人大学院生 关于中山大学在职研究生（同等学力）招生政策法规

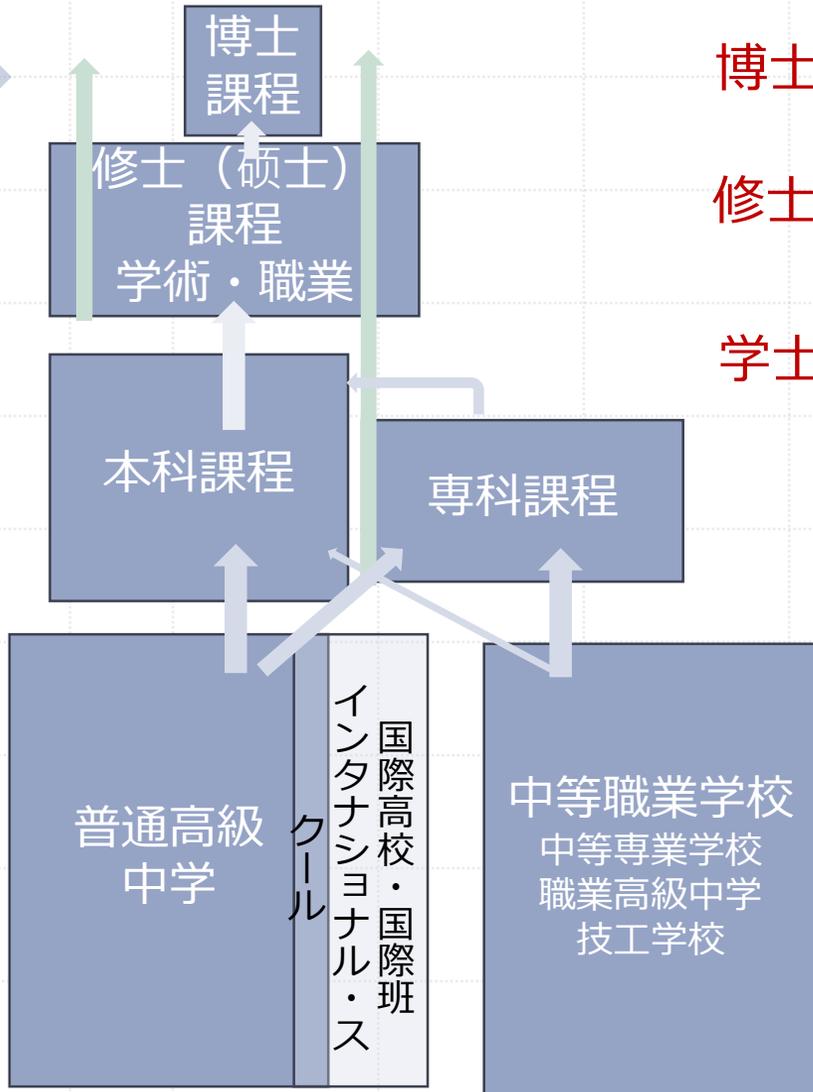
**李的偏見**：難関の全国統一試験を経ずに大学院に進学したため、ルート①とルート②で進学した者より社会的評価が低いと思われがちである。（シグナル機能の低下）

# 補足：修士（硕士）課程の進学者数の変化 （再掲）



出所：『教育統計年鑑』各年度

# 多様な博士への途



博士

修士（硕士）

学士

- **日本と同様のルート**（大学・研究機関による選抜）
  - ただし、学士号を取得してから6年以上経過した人は、同等学力を持つ者として受験できる。
- **近年の変化**
  - 学術修士（3年間）から専門職修士（2年間）養成への移行  
（高度専門職の養成に力点を置く）
  - 碩博連読（修士博士一貫制教育）
  - 博士課程までの教育を視野に、大学入学時から優秀者を選抜して養成するコースの設立：  
「基礎科学拔尖学生育成計画」（略称して「拔尖計画」）、「強基計画」（「基礎学科入試改革試行」）など



# 職業教育に関する最新の動向

# 普通教育Vs.職業教育

## 一学力による分岐（再掲）

- 市場経済への移行にしたがい、幹部と工人（労働者）という制度的区分がかつてほど顕在的ではなくなったものの、まだその名残が隠れた形で根強く存在している。
- 高等教育の規模拡大にしたがい、大卒者がホワイトカラーの仕事に就くことが保証できなくなった一方、大卒という学歴がホワイトカラーの仕事に就くための必須条件にもなりつつある。

⇒

- 職業系のトラックに振り分けられることを極力避けたい心理が国民の中に広く存在している。
- 普通教育系、あるいは職業教育系へ振り分けられるのは個人の希望よりも成績によるものが多い。

# 政府の動向

## 一 職業教育の強化（再掲）

- 2014年「現代職業教育の発展の加速に関する決定」《关于加快现代职业教育的决定》
- 2019年「教育現代化推進加速案」《加快推进教育现代化实施方案》（2018-2022年）
- 2019年「中国教育現代化2035」  
⇒職業教育・生涯教育の推進
- 2021年「現代職業教育の質の高い発展の推進に関する意見」《关于推动现代职业教育高质量发展的意见》  
⇒職業本科（職業系の4年制大学）の増設・大学院まで進学するための課程を作る
- 2022年 「職業教育法」の改正  
⇒職業教育と普通教育の同等性（裏の意味：両者が同等ではないことが現状）
- 職業教育の地位向上、高度化を目指す。
- 中卒者の中で職業系高校の進学、高卒者の中で職業系大学（応用技術大学・職業技術大学・職業大学）への進学が増えることが予想できる。

Q：中国人留学生の受け入れに関して、どのような新しい課題が想定されているのか。

**参考：** [NIAD-QE 中国高等教育の動向記事「職業教育法が改正」](#)

# 2023年9月～

## 普通高等教育を強化する方向へ転換

- 「教育部 国家发展改革委 财政部关于实施新时代基础教育扩优提质行动计划的意见」

「11.良質な普通高中の教育資源を拡大する。良質な普通高中の資源潜在力を引き出し、教育の機会を増やし、……順次高質な普通高校の入学規模を拡大させる。……」

### ⇒職業系高校拡大の敗北宣言！

背景：職業教育軽視の伝統

低い社会的評価

普通高校進学をめぐる早期選抜と高騰する教育費⇒少子化

### 【質問】

普通高校の進学枠の拡大は、熾烈な教育競争を緩和できるか。

# 国際高校（国際学校、インターナ ショナルスクール）

# 類型

設置形態	カリキュラム	認証	普通高級中学学業水準試験	卒業後の証書	学籍	主な進学先	海外大学申請方法
中外合作弁学	中国と海外の普通高等学校のカリキュラムの両方を使用	中国と海外の教育部門からの認証あり	必須	中国と海外校の両方の卒業証書	中国と海外校の双学籍	中国と海外の大学両方申請可	直接海外大学申請可
海外高校のカリキュラム	IB,Alevel,BC, AP等々海外のカリキュラムのみを使用	海外の教育部門からの認証あり	不要	高校の段階で海外校に転学	海外校の学籍	中国の大学申請不可	直接海外大学申請可
中国の高校+一部の海外高校のカリキュラム	中国の普通高等学校+一部の海外の高等学校のカリキュラムを使用	海外の教育部門からの認証なし	必須	中国の卒業証書	中国の学籍	基本的に中国の大学に進学	TOEFL試験、IELTS試験必須
中国の高校+英語のカリキュラム(単位なし)	中国の普通高等学校のカリキュラム+英語	海外の教育部門からの認証なし	必須	中国の卒業証書	中国の学籍	基本的に中国の大学に進学	TOEFL試験、IELTS試験必須
<b>無認可学校</b>		<b>不明</b>			<b>学籍なし</b>		<b>不明</b>

**！質の保証ができない**

- 学籍**：2013年～実施 学籍は該当学生の小学校進学から最終学歴までの学習内容、成績、健康状態、進学、転学、休学などの学習状況が詳しく記載された書類。小学校進学の時点で学籍及び学籍番号が付与される。

# 国際高校に関する情報と認証

## ■ 国際学校ネット

## ■ 125国際高校

! 情報の真偽に関する認証はなし

## ■ 国際高校に関する認証

- 中国に学籍のある学生はCSSDで認証可
- 外国籍の学生はCSSDで認証可
- **学籍のない学生**は認証不可（海外進学を目指す中国籍の学生、無認可の学校に進学した学生）





# Section III : 実務

## 一 証書の認証と承認

# **CSSD (China Credentials Verification)**

- **Verification Features (学籍、学歴、学位) 認証 (认证)**
  - 教育部の認定を受けた正規大学か
  - 学位授与権があるか
  - 提出された学歴および学位証明書の形式が正しいか



# 承認（验证）

## Education Background Information

- 学校の合法性を認証したあと、学生に関する学習背景を承認する。

# < Verification Report >

## Education Background Information Service for Overseas Study



Student's Academic Transcript

Gaokao

High School Academic Proficiency Test (Huikao)

High School Graduation

# Adjustments about Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript

**Verification Report**  
of  
**China Higher Education Student's Academic Transcript**

Report No.: 5■■■4  
Date of Report: May. 16, 2022  
Page: 2 of 2

**NAME**  
Name: Yang Li      Report No.: 5■■■4  
Sex: Male      Date of Report: May. 16, 2022  
ID No.: 111111111111111111\*\*\*\*      Page: 1 of 2  
Institution: Peking University32

**MAJOR**  
Major: Atmospheric Science      *The major is consistent with the transcript.*  
Major/Minor: Minor  
Level: Undergraduate

**DIPLOMA**  
Diploma No.: 102001201005001234      *Diploma number is included.*  
Type of Degree: Science      *Degree information is included.*  
Degree Level: Master Degree      *Part of the institutions' GPA algorithm is provided.*  
Degree Certificate No.: 102732010053412  
Grade Point Average (GPA): 3.49 (4-point scale, Standard Algorithm II)

**SUBJECT AND GRADE ASSESSMENT**  
Subject and grade assessment:  
Total Credits Due: 220 credits Actual Total Credits: 234 credits;  
Total Credit Hours Due: 2445 Hours+4 Weeks Actual Total Credit Hours: 2944 hours+4 weeks;  
There are 45 compulsory courses, credits are 119.5, accounting for 51%;  
There are 4 elective courses, credits are 9.5, accounting for 4%;  
There are 17 major courses, credits are 33.5, accounting for 14%;  
There are 16 limited optional courses, credits are 49, accounting for 21%;  
The credit of practice course is 6.5, accounting for 3%;  
The credit of graduation thesis is 16, accounting for 7%.

*This section is the result calculated on the basis of the transcript.*

(Continued on next page)

Center for Student Services and Development  
Ministry of Education, P.R. China

Verification Report can be verified online at  
<http://www.chsi.com.cn/en/pvr/>

**Verification Report**  
of  
**China Higher Education Student's Academic Transcript**

Report No.: 5■■■4  
Date of Report: May. 16, 2022  
Page: 2 of 2

SUBJECT	GRADES	CREDITS	CREDIT HOURS	COURSE TYPE
<b>2019-2020 SEMESTER 1</b>				
Design Exercise of Professional Course	72	4.0	60	Elective Course
<b>2019-2020 SEMESTER 2</b>				
Projects for Innovation Practice	80	2.0	48	Compulsory Course
Automotive Testing 3	95	3.0	32	Practice Course
Automotive Design 6 - Testing Technology	80	3.0	60	Compulsory Course
Graduation Design(Thesis)	72	16.0	48	Graduation Thesis

**The Academic Transcript listed above is considered authentic.**  
*Credit hours and course type are included.*  
(the following empty)

Center for Student Services and Development  
Ministry of Education, P.R. China

Verification Report can be verified online at  
<http://www.chsi.com.cn/en/pvr/>

# 提供可能な報告書

## 【高校卒業⇒大学進学】

- 《中国高等学校招生入学考试成绩验证报告》 高考（Gaokao）の成績
- 《中国中等教育学历验证报告》 學歷認証報告書
- 《普通高中学业水平考试（会考）成绩验证报告》 普通高級中学学業水準試験  
(卒業試験)

## 【大学卒業】

- 《中国高等教育学历认证报告》 學歷認証報告書
- 《中国高等教育学位认证报告》 学位認証報告書
- 《中国高等学校学生成绩验证报告》 高等教育学生成績検証報告書

# まとめ（李的感想）

- 高等教育の制度を正確に理解するためには、それと接続する初等中等教育を含む教育の構造、労働市場の構造、及び社会背景となる社会（階層）の構造を知ることが大事である。
- その国の教育の歴史を知ることが大事である。
- 制度の名称が同じであっても、国によって中身が異なる。

中国の教育制度や高等教育資格の情報については、NIAD-QEの以下の情報もぜひご参照ください！

- NIC-Japanウェブサイト外国教育制度リンク集（中国）
- NIAD-QE高等教育質保証の海外動向発信サイト「QA UPDATES」：  
中国高等教育質保証制度等に関する動向記事
- 「中国の高等教育・質保証システムの概要」
  - ☆ **現在、本概要の第2版を作成中（2023年度刊行予定）！**
- 「NIAD-QE 海外高等教育質保証動向ニュース」メールマガジン  
高等教育に関心をお持ちの皆様に、海外の高等教育・質保証動向記事や、当機構主催の刊行物・主催イベントの情報を月に1度配信し、タイムリーな情報をお届けしています。ご登録は[こちら](#)からお願いします！



■ **ご清聴、ありがとうございました！**